



鹿児島県大島郡宇検村湯湾915番地

電話：0997(67)2211番

FAX：0997(67)2262番

発行所：宇検村役場

編集：総務企画課

URL <http://www.uken.net>

Mail soumuk@uken.net

CONTENTS

- P 2 ~ 3 成人式・消防出初め式
- P 4 ~ 6 むらの話題
- P 7 ~ 14 宇検村議会だより
- P 15 オリジナル曲(名柄小中)
- P 16 ~ 18 お知らせ
- P 19 宇検村観光大使第1号
- P 20 村民のうごき



「うけん村議会だより」合併号

新たに整備されたハーベスターを使ったサトウキビ収穫のようす

新成人が 大人の仲間入り

平成 24 年宇検村成人式

一月四日に平成二十四年宇検村成人式が、元気の出る館で行われました。

式では、参加した新成人者二十名全員による「村民憲章」並びに「はたちの誓い」が朗読され、多くの来賓の方々からお祝いの言葉が述べられました。

余興では、恩師の先生方からお祝いの言葉を頂いたほか、新成人者一人一人が将来の夢や親への感謝の言葉を語ってくれました。

また、村連合青年団が制作した、新成人者の幼児期からの成長過程の写真をス

ライドで放映すると、昔を懐かしむ声が聞かれました。新成人代表謝辞では若検出身の泉洋平さんが「自分たちは社会人としての自覚を持ち、しっかりと頑張ります。」などと述べました。



新成人を代表して謝辞を述べた泉洋平さん

平成 24 年成人該当者一覧

【久志校区】

福山 尚平・名越 美里衣

【田検校区】

泉 洋平・松井 直人・茂木 千春・玉利 美久・南 ゆかり・徳永 良平・池田 愛・篠崎 誠司・杉浦 弘泰・名越 彩乃・溝辺 真優・松山 友梨・徳永 裕美・富山 大介・平 愛美・栞山 未来・上田 橋 梓

【名柄校区】

保浦 聖士

【阿室校区】

東 大圭利



恩師の先生方も祝福に駆けつけ、新成人者との思い出話などをしてくれた



久しぶりの再会に満面の笑顔



将来の夢や両親への感謝の言葉を述べる新成人者



式典の後に和やかな雰囲気
で写真撮影を楽しむようす



迫力ある一斉放水演習のようす



見事な手旗信号を披露してくれた海洋少年団の皆さん



出初め式に花を添えてくれた団検小鼓笛隊の皆さん

永年勤続功労章と功績章を授賞された保池 久消防団長 ▶

昨年授賞した「まとい」も今回のパレードでお披露目された ◀

機敏な動きで整列をする団員と団長の案内で点検を行うようす ▼



表彰者名簿一覧

【消防庁長官表彰（永年勤続功労章）】

保池 久

【日本消防協会（功績章）】

保池 久

【鹿児島県消防協会（精績章）】

泉 俊幸・田畑 成康

【鹿児島県知事表彰（10年勤続章）】

泉 清一郎・前田 博哉・

川畑 竜也

【鹿児島県消防協会大島支部長表彰（15年勤続章）】

泉 俊幸・田畑 成康・

元 正幸

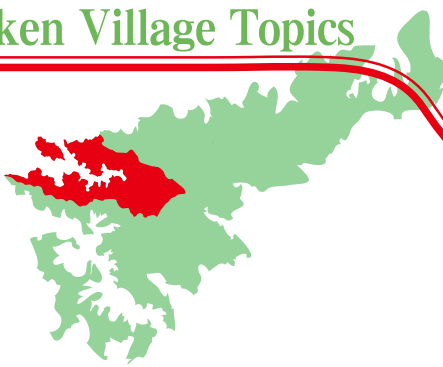
【鹿児島県消防協会大島支部長表彰（功績章）】

前田 健・時田 伸二

一月六日に行われた平成二十四年宇検村消防出初式は、総勢八十名の団員による役場から陸上競技場へのパレードで始まりました。当日は、時折雨の降るあいにくの天気となり、消防操法が中止となりましたが、通常点検や「奄美瀬戸内海洋少年団」の児童による手旗信号の演技披露、一斉放水演習などは競技場で行われ、会場に訪れた観客を楽しませてくれました。また、九名の団員が永年勤続功労章などの表彰を受けました。

しま 宇検村を守る 消防団員が集結

平成24年 宇検村消防出初め式



わ き や し ま し ゅ ん わ だ い
宇 検 村 の 旬 な 話 題

*このコーナーでは、宇検村内の旬な出来事をご紹介します。みなさんの周りにあるめずらしいことなど、情報をお待ちしています。

宇検村役場 総務企画課 広報係 ☎ 0997-67-2211



収録で短歌を詠み上げる児童のようす

ラジオで短歌を届ける

～田検小学校の児童～

本村の田検小学校が取り組んでいる短歌の授業で、児童が詠んだ作品が、4月から「エフエムうけん」で放送されることになりました。これは、「エフエムうけん」でパーソナリティを務める佐々木 一字さん（田検）が企画したもので、児童一人一人が自分の声で短歌を詠み上げ、作品に込めた思いも語っています。

昨年12月13日に同校で田検小3年生の収録があるとお聞きし、取材に行ってきました。収録前に佐々木さんから「あわてなくていいから、気持ちを込めて、ゆっくり詠むんだよ。」などとアドバイスを受けた児童の皆さんは、緊張しながらも元気に作品を詠み上げていました。また、収録した内容をみんなで聞き返すと、少し恥ずかしそうな表情を見せていました。子ども達の短歌は、毎月第2火曜日に放送される佐々木さんの番組「晴れたらいいね」の中で紹介されます。それぞれの思いが詰まった短歌を、ぜひ、お聴き下さい。



若竹剣道・中学剣道部が活躍

～第24回睦剣旗争奪少年剣道大会～

1月29日に第24回睦剣旗争奪少年剣道大会が、奄美市名瀬の伊津部小学校体育館で行われ、小学生は団体戦、中学生は個人戦で競い合いました。

小中学生約80名が出場した同大会で、若竹剣道スポーツ少年団が小学生低学年の部において、見事に優勝を果たしました。また、中学生男子の部では重 充輝くん（田検中2年）が優勝し、松井 洋希くん（同1年）が準優勝、女子の部では小松 瞳子さん（同1年）が優勝に輝く活躍を見せました。

今大会では選手全員が稽古で身に付けてきたことをしっかりと発揮することが出来、良い結果に繋がったそうです。

若竹剣道スポーツ少年団及び、田検中剣道部は合同で週4日の稽古を行っています。今後の活躍が楽しみです。



中学男子・女子の部で上位入賞した3名



関係者が見守る中専用コンバインで初の収穫

ソバ栽培で初の収穫

部連集落の農地で昨年10月に種をまいた「ソバ」の初収穫作業が1月19日に、村農業委員会わたり ひろみち（渡 博道会長）や県大島支庁、役場の関係者が参加する中、専用コンバインを使って行われました。

これは村内にある約15㍊の耕作放棄地の有効利用などを目的に、栽培試験を実施したもので、今回は10㍊の農地から約40キロを収穫しました。

作業に手が掛からず栽培がしやすいとされる「ソバ」は、春と秋の年2回収穫をすることが出来、サトウキビの輪作作物としても期待されます。

また、3月16日には阿室集落の耕作放棄地2カ所50㍊でも種まきを行い、5月上旬には収穫を予定しています。

今後、本村ではソバの栽培面積を拡大し、宇検村産のソバを使用した料理の開発や、ソバ打ち体験などを実施したいと考えています。



今回初めて栽培されたソバ



花見とウォーキングを楽しむ参加者

また、会場では各地域婦人会によるバザーもあり、賑わいを見せました。

大会当日は、天気にも恵まれ、三、五、十キロの三コースへ約三百名の方が参加し、花見をしながら各コースをそれぞれのペースで楽しみました。

今年度は、ヒカンザクラの開花に合わせて例年よりも早めの時期に行われました。

第十四回村健康づくり完走歩大会が二月十二日、陸上競技場を発着点に開催されました。

**完走歩大会を開催
ヒカンザクラも楽しむ**



2連覇を達成した田検中男子バレー部

田検中男子バレー部2連覇

～鹿児島・宮崎対県中学バレー大会～

第11回鹿児島・宮崎対県中学バレーボール大会が3月3日、4日の二日間にわたり始良市で開催され、本村の田検中男子バレー部が、久志中との合同チームで出場した昨年に続き、見事に2連覇を達成しました。

両県から8チームずつの合計16チームの強豪校が出場する中で、チームの持ち味である粘り強いレシーブでつなぎ、速攻とオープンを使った多彩な攻撃を展開し、予選からの5試合すべてをストレート勝ちで2連覇を飾りました。

3年生が引退した後、新しいチームの主将を務める柳 俊輔やなぎ しゅんすけくん（田検中2年）は、「先輩達が引退したので、自分達がしっかりしなければという気持ちで全員で力を合わせて頑張ってきました。九州中学バレー選抜大会（3月27日から福岡県で開催）では、自分達の流れをしっかり作って優勝します。」と九州大会へ向けての抱負を話してくれました。



たかだ たくみ
高田 拓実くんが優勝に貢献
～県中学校春季選抜野球大会・大島地区予選～

第42回県中学校春季選抜野球大会・第28回大島地区予選大会の決勝戦が、3月11日に奄美市の住用総合グラウンドで行われ、宇検村久志中1年生の高田 拓実くんが所属する小宿・久志合同チームが優勝を果たしました。

笠利との対戦となった決勝は、初回に小宿・久志合同が1点を先制したものの、2回以降は両チームとも無得点が続く緊迫した試合となりました。迎えた5回表、小宿・久志合同が2つの四球で二死一、二塁とする絶好のチャンスの中で、2番打者の高田くんが左中間を破る二塁打を放ち2点を追加。見事なバッティングでチームの優勝に貢献しました。試合は、最終回に1点を返されたものの3-1で逃げ切り、県大会への出場権を獲得しました。

高田くんは小学4年生から野球を始め、中学入学と同時に同チームへ入部。チームでは2番ライトのポジションを務め、4月28日～30日に鹿児島市で行われる県大会へ出場します。

決勝で打順を待つ高田 拓実くん



茶道実演のようす

公民館講座の閉講式
学習の成果を披露

村公民館講座の閉講式が二月二十六日に元氣の出る館で行われました。平成二十三年度は十七講座が開かれ、修了した受講生は一七〇名となりました。

学習発表では、各教室の受講生が日頃の学習の成果を披露し、島唄や詩吟、社交ダンスなど多彩なプログラムで観客を楽しませてくれました。

また、会場では茶道教室の受講生が実演を行ったほか、生け花やパッチワーク、短歌教室、宇検地元学教室などの作品が展示されました。



紅白戦で激しくぶつかり合うハンド部の選手

東北福祉大学が合同合宿
～陸上部・ハンドボール部～

宮城県の東北福祉大学陸上部とハンドボール部が、2月下旬から3月上旬にかけて宇検村で合宿を行いました。今回は、保育科の一般学生も訪れ、指導者も含め総勢61名が来村されました。

滞在中には滝の園との交流もあり、3月1日に保育科の学生がトマトの収穫を、3月6日にはハンド部がサトウキビの種づくりを手伝い、園生と交流をしながら農作業を体験しました。

陸上部は6年連続、ハンド部は5年連続での宇検村合宿で、基礎体力の向上や共同生活を通してチームの結束を図ることなどを目的に練習を行いました。最終日にハンド部は紅白試合を、陸上部はタイムレースを実施。実戦を意識した内容の練習で合宿を締めくくりました。



滝の園でのサトウキビ種づくりのようす